

礼 拝 順 序

前 奏		司会
招 詞	詩編 100:1-2	奏楽
讚 美 歌	157	
読 詩 編	28:1-9	
讚 美 歌	16	
聖 書	新約 マタイ 6:25-34 (p. 10 or 12)	
祈 禱		
讚 美 歌	357	
説 教	キリストとの出会い	
祈 禱		
讚 美 歌	522	
奉 献	(献金・祈禱)	
主の祈り	93-5-A	
頌 栄	28	
祝 禱		
後 奏		
報 告		

月 日	司会	奏楽	礼拝	受 付	献 金	配 餐	ビデオ
8/23 (日)							
8/30 (日)							
8/29 (土)	掃 除	壮年会 (午後5時) 掃除後 壮年会例会					
9/ 5 (土)	掃 除						

◇次 週 礼 拝◇

説 教 従順を学ぶ  
 聖 書 詩編 2:1-12  
           ヘブライ 5:1-14  
 讚美歌 157 16 342 491 28  
           練習 15  
 交読詩編 28:1-9

◇本日の集会◇

求道者会 礼拝後 於 談話室  
 初めて教会に見えた方、求道者  
 (洗礼を受けておられない方)は  
 お集まりください。

◇今週の集会◇

野庭苑訪問  
 25日 (火) 午前10時

壮年会例会

29日 (土) 掃除後

発題 「花の写真」

◇報告とお願い◇

礼拝後、沖縄研修ツアーの打ち  
 合わせをいたします。

本日、夏期学校キャンプを葉山  
 の「相洋閣」でしています。

次主日礼拝後、聖書を読む会  
 をいたします。

パプアニューギニアの津波災害  
 の支援募金にご協力ください。

◇今週の誕生者◇

◇集 会 報 告◇

	男	女	計	
教会学校子供	8/16	5	19	24
大人	8/16	10	13	23
主日礼拝	8/16	32	53	85

◇牧師室より◇

中国帰還者連絡会(以下-中  
 帰連)は中国戦線における残虐  
 行為の証言集「戦争の真実を語り  
 継ぐ」を「第6号」まで出している。  
 中帰連の方々には、戦犯でありな  
 がら中国当局から人道的処遇を  
 受け、人間的良心の回復をさせら  
 れた。この特異な体験から深い反省  
 に基づいて、反戦平和と日中  
 友好を訴え、実践している。証言  
 集を発刊するようになった趣旨を  
 次のように述べている。『自由主  
 義史観』を提唱する藤岡信勝東  
 大教授一派は、従軍慰安婦問題を  
 教科書から削除する活動を始

め、『新しい歴史教科書をつくる会』を発足させました。一中略—この日本の反動勢力の跳梁に対抗することの、わけても若き世代に先の戦争の真実を語り継ぐことの必要性を痛感せずにはいられません。」

中帰連は老齢をおして、全国で証言活動をしている。ところが、この証言は、欺瞞・捏造であると批判する人がいる。私は中帰連の集会に行ったことがある。その時「証言の客観性を証明する資料はないのか」と問うた。中国の戦犯管理所で、日本将兵の罪業を告白した供述書が貨車 3 台分あると聞いたことがあるからである。その供述書が最近、公開され始めた。月刊誌「世界」と「週刊金曜日」と「中帰連」に連載されている。部隊名やその行軍などから、供述書の信憑性が高いことが裏付けられている。中帰連の証言は真実であるとされる。人は多少「悪者ぶる」話はしたが。しかし、中帰連の蛮行の証言は桁が外れている。あのような証言は作り話ではとうていできない。それを欺瞞・捏造と言い張る人々は歴史を

歪曲しようとする意図以外にはない。歪曲こそが欺瞞である。

今回出された「第6号」は「特集—中国戦線における日本軍の性犯罪—」である。その証言は、「牧師室から」に紹介することを憚られるほど醜悪である。もちろん全員ではないが、故郷では優しい父・息子たちが戦場では「狂気・鬼」と化した。軍隊がそれを強要したのである。中国民衆の殺害、放火、略奪などの不法・残虐行為については、多く書かれ、語られている。しかし、性犯罪である婦女陵辱行為については、それが広範に行われたにもかかわらず、数少ない告白であると言われる。犯した者の人間性や理性が疑われ、市民的名譽を失うからである。

カインは弟アベルを殺害した。カインは「知りません。わたしは弟の番人でしょうか」とあくまで罪を拒み続ける。そのアベルに神は「何ということをしたのか。お前の弟の血が土の中からわたしに向かって叫んでいる」と弾劾される。強姦、虐殺された彼女たちの悲痛な叫びは、神の耳をつんざくほど届いていよう。

## 週 報

1998年8月23日 聖霊降臨節第13主日

巻 19

21号

1998年度 教会主題

「恵みの座に近づこう」

聖 句 だから、憐れみを受け、恵みにあずかって、時宜に  
かなった助けをいただくために、大胆に恵みの座に  
近づこうではありませんか。

ヘブライ人への手紙 4章16節

目 標 1. 生活を整えて礼拝、諸集會を守る。  
2. 一人が一人を伝道する。

日本キリスト教団 **横浜港南台教会**

横浜市港南区港南台7丁目8-29

郵便番号 234-0054

電 話 045-833-5323

F A X 045-833-6616

振 替 00290-4-13994

牧 師 秋 吉 隆 雄